

「Mother to Mother SHIONOGI Project」と長崎大学

「Mother to Mother SHIONOGI Project」(以下、「Mother to Mother」)は、塩野義製薬のグループ会社であるシオノギヘルスケアが発売する総合ビタミン剤「ポポン®S」シリーズの売り上げの一部と、塩野義グループの全社員からの募金により運営されているプロジェクトで、同社からの寄付金を受けた国際 NGO(非政府組織)のワールド・ビジョンが母体となり実施されている母子保健事業です。ケニア南西部にあるナロク県のマサイ族のコミュニティであるイララマタク地域において、2015 年 10 月から展開されています。

アフリカでは、命を落とす妊産婦が日本の 77 倍にも上るという世界保健機関(WHO)の報告もありますが、このプロジェクトでは、同社が販売する日本のお母さんの健康を応援する製品の売り上げの一部を、ケニアのお母さんの健康へと繋げるという思いから、同社では「Mother to Mother SHIONOGI Project」と名付けられました。

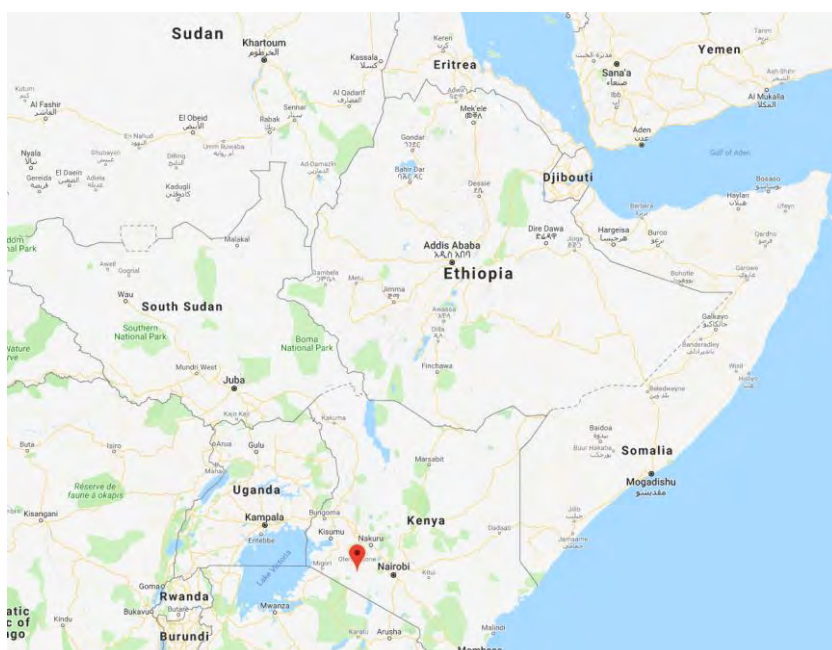
同プロジェクトでは、ワールド・ビジョンの主導の下、上下水道などの社会インフラ整備がなく、衛生環境が劣悪な中で生活をしている地域において、診療所での医療サービスの提供や巡回診療の実施、医療従事者のトレーニング、住民への啓発活動などを行い、医療アクセスの向上および母子の健康改善・増進に取り組むことを目的としています。

この「Mother to Mother」の考え方に賛同し、長崎大学は、2018 年 1 月より、本学熱帯医学研究所ケニアプロジェクト拠点が同プロジェクトに参加しています(2018 年 3 月にワールド・ビジョンと科学的な活動の評価について契約)。貧血、栄養状態などの健康状態の把握や下痢症などの感染症の発生状況、またそれらが相互影響に関する調査をしています。この調査により、井戸水の供給やトイレの設置、さらに衛生教育など、個々の対策の効果についての検証が可能となります。このように、長崎大学はコミュニティへの介入効果を科学的に評価する役割を担い、健康増進活動の評価とそのあり方について提言する予定です。

### 資料 3: Mother to Mother SHIONOGI Project



一瀬客員教授(前ケニアプロジェクト拠点長)と Mother to Mother の関係者



プロジェクトのあるイララマタク地域

参考ウェブサイト

1. Mother to Mother SHIONOGI Project について  
日 : <http://www.shionogi.co.jp/company/csr/act/mtom.html>
2. 英 : <http://www.shionogi.co.jp/en/company/csr/activities/mtom.html>